

SCIENCE

大阪市立東中学校35期生

令和2年6月4日発行

第3号

さて、前回の続きです。タンポポの種子は、どのような点で都合がよいのでしょうか？

アメリカの科学雑誌 *nature* に2018年10月、このような見出しが掲載されました。

「A separated vortex ring underlies the flight of the dandelion」

「空気の渦がタンポポの種子の飛行の根柢にある」

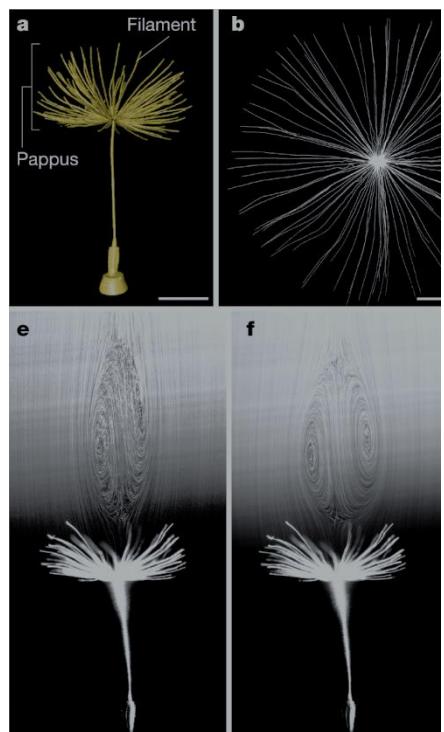
イギリスのエдинバラ大学の、中山尚美さん、Ignazio Maria Viola さんたちの研究グループが発表した論文の内容でした。



カエデにも、空気の渦を利用して種子を遠くへ飛ばそうとするはたらきがあります。飛行機の翼のように、空気の流れを利用した揚力を利用しています。



今回の研究では、タンポポの綿毛が、種子をより安定して飛行させることに都合がよいことを明らかにしました。

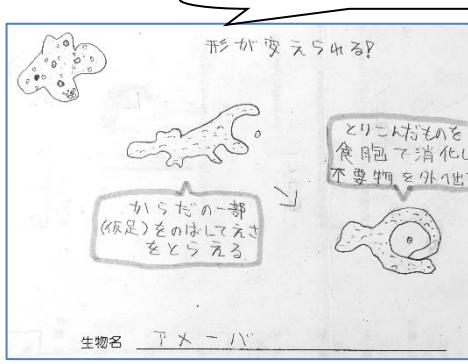
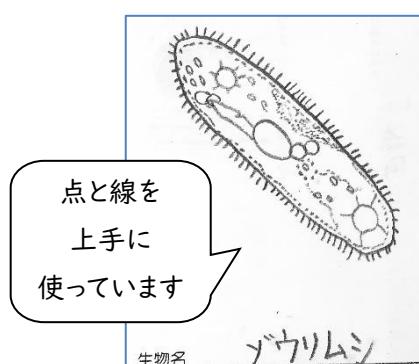


「The porosity of the dandelion pappus appears to be tuned precisely to stabilize the vortex, while maximizing aerodynamic loading and minimizing material requirements.」

タンポポの種子は、風によって運ばれやすいように計算されたつくりをしていたのですね。

今回は、課題④のスケッチを紹介します。

動きの説明も分かりやすい！



4組 Yさん

1組 Fさん

3組 Yさん